

第5回 出雲市スポーツ振興審議会 議事録

1. 開催日時 平成31年3月26日(火) 10:00～12:00

2. 開催場所 出雲市役所3階 庁議室

3. 会議の出席者

(1) 委員 (15名)

今岡一朗会長、安喰公美副会長、青木敏章委員、植田義久委員、金築康治委員
久家 彰委員、高野正次委員、永島弘明委員、萬代輝正委員、矢田栄子委員
山根千恵美委員

玉井孝幸臨時委員、福間正純臨時委員、山下一也臨時委員、和田嘉宥臨時委員
※欠席者4名(大森正義委員、佐々木康文委員、佐野留美委員、野津修一委員)

(2) 出雲市 (6名)

永瀬市民文化部長、藤原市民文化部次長兼文化スポーツ課長
天野スポーツ特別事業室長、藤原課長補佐、山内課長補佐、藤井係長、福田主任

4. 次第

(1) 今岡会長あいさつ (要旨)

年度末のお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

本日は、新体育館建設基本計画の修正案、運営手法及び今後の審議会スケジュール等について事務局から示されたので、委員の皆さまには慎重な審議をお願いしたい。

(2) 議事 (発言要旨)

【今岡会長】

・はじめに、次第「ア」から「ウ」について、事務局から説明をお願いする。

【1】新体育館建設基本計画 (案) について

①基本計画 (6. 施設の構成と想定規模) について

ア 新体育館への要望について (平成31年分) 資料1

イ 計画の修正について 資料2

ウ サブアリーナの面積について 資料3

【説明：スポーツ特別事業室 天野室長、藤井係長】

【今岡会長】

・事務局から資料説明を受けたが、項目毎に審議していきたいと思う。次第「ア 新体育館への要望について」の質疑を行う。各委員の意見を聞かせてほしい。

【永島委員】

・クライミングの屋内施設要望について、高等学校体育連盟の代表として市長要望を行ったが、オリンピック種目になったこともあり、愛好者・競技者が増えてきている。

・県の施設だけでは不十分だと感じている。

・当然予算の問題がからんでくるので、全体のバランスをみたうえで、できる範囲内で対応し

て頂ければとの想いである。

【今岡会長】

- ・フットボールクラブや、ソフトテニスからも要望が出されているが、市の考え方を聞かせてほしい。

【事務局：天野室長】

- ・市としては、こういった要望の全てを受け入れるのは厳しいと考えている。クライミングについては、別室を設けるなど、相当な費用がかかることが想定される。
- ・要望では国体のことも触れているので、まずは県において考えていただくのが筋ではないかと考えている。
- ・メインアリーナについては、基本計画案では 2,000 m²程度 (50m×40m) と考えており、できるかどうかはわからないが、今後詳細設計の段階で検討してまいりたい。

【今岡会長】

- ・ソフトテニスについては、3mだけ広くしてほしいとのことだが、もう少し広げることにについて、市の考え方を聞かせてほしい。

【事務局：永瀬部長】

- ・基本計画案では、大きさについては「程度」に留めている。
- ・大会を意識したうえでメインアリーナを広げてほしいと考えておられるが、サブアリーナについても、市民利用として広げてほしいとの意見もあり、今回の審議会では素案の段階から少し広げる案を提案している。
- ・今後設計の段階で検討ができるようにするため、基本計画では「程度」とし、もう少し広げることが可能かどうかは、次の段階で考えていくのも手法ではないかと考えている。
- ・要望を受け、市長からは、「今は審議会に諮問している段階であり、要望に全て応じることは難しい」とそれぞれの団体に回答させていただいた。

【今岡会長】

- ・体育館は20年、30年に渡り長く使われるものであり、「やっぱりあと3m広げればよかった」など悔いが残らないようにしてほしいが、今はあれがほしい、これもほしいと言っているのは、主旨は、スポーツ振興に資することが大前提であるので、メインアリーナ、サブアリーナは重点的に考えてほしいのが会長として私の想いである。

【玉井委員】

- ・基本計画修正案(資料5)のエントランスホール・ロビーの項目で、事務局は「将来どうなるかわからないので、情報収集の文言は削除する」と説明された。このままでいけば、基本設計では情報発信だけすればよいと解釈できる。
- ・他の修正案と比べると、この項目だけが機能ダウンした印象を受ける。
- ・場所として考えていたのか、展示スペースとして考えていたのか、当初想定していた「情報収集機能」の意図をはっきりさせたいうえで、修正をしたほうが良いと思う。

【今岡会長】

- ・玉井委員からのご質問については、後ほど事務局から回答していただく。先に新体育館への要望に関して、意見を整理したいと思う。他にご意見はございませんか。

【萬代委員】

- ・資料3にも関わってくるが、市から斐川第2体育館の廃止方針が示されて以降、何度か県協会出雲支部からも市に要望を出しており、新体育館への期待感を強く感じている。
- ・今回サブアリーナの修正案が事務局から示されたが、メインアリーナの1面以外で、公式サ

イズがとれなくても、サブアリーナでも競技ができるよう、壁の強度を確保したうえで、フットサルの練習ができることが大きい。

- ・今回のフットサルクラブの要望には、サブアリーナにも基本20m×40mサイズを1面確保してほしいとの要望であり、実際にできるのか、できないのか市の考え方を聞きたい。

【事務局：天野室長】

- ・フットサルについては、サブアリーナでは余白部分がとれないことがある。
- ・今の段階では程度に留めており、今後の検討とはなるが、非公式であれば40mが38mになればできるのではとの認識でいる。

【萬代委員】

- ・練習ができるのか、できないのかはっきりさせてほしい。
- ・もしできないのであれば、例えば資料3では“△”にして、「公式はダメ」と注釈を設けたうえで、フットサルは対応するなど、市民には丁寧を示すこと。

【事務局：天野室長】

- ・萬代委員のご意見を踏まえ対応したいと思う。

【今岡会長】

- ・それでは、次第「ア 新体育館への要望について」に関する質疑は終了し、次に、次第「イ 計画案の修正について」の質疑を行う。まず、玉井委員から質問のあった点について、事務局から回答をお願いする。

【事務局：天野室長】

- ・情報収集の文言を削除して点についてだが、現実的にどういったことができるのか、特にソフト面について、まだ事務局でも具体的な情報収集のイメージ・機能を想定しきれていない。
- ・委員ご指摘のとおり、文言としては後退したといわれても仕方がないが、基本設計の段階で詰めていきたいので、ご理解いただきたい。

【今岡会長】

- ・次に、次第「ウ サブアリーナの面積について」の質疑を行う。各委員の意見を聞かせてほしい。

【青木委員】

- ・前回の審議会では、素案(40m×25m)だとできない競技がいくつかあり、市民利用の面において、少しでも多くの人・団体が利用できる「分割利用」の視点で面積を考えるべきとしていた。
- ・今回示された事務局案(40m×30m)は、これまでの意見をふまえたものであり、いいのではないか。
- ・アリーナの面積を増やす一方で、2階のオープンスペースは減るようだが、どのあたりが縮小するのか。
- ・影響を受けるのは、会議室・大会役員室、エントランスホールにしわ寄せがいくことを懸念している。
- ・大会をやると、コートのはいいのに、集まる人達のスペースがなくて使い勝手が悪いとの声を聞くので、今後の新たな課題かなと思っている。

【安喰副会長】

- ・これまでアリーナは真四角に近い形がよいと委員会の中で発言してきたが、今回の修正案で面積も広く、形も四角に近づいたので評価している。

【今岡会長】

- ・次に、次第「エ」について、事務局から説明をお願いする。

①基本計画（6. 施設の構成と想定規模）について

エ 景観形成地域への配慮について

資料 4

（「新体育館のイメージ図」をプロジェクターによる映像で説明）

【説明：スポーツ特別事業室 藤井係長】

【今岡会長】

- ・事務局から説明があったが、出雲市景観審議会の会長である和田臨時委員からご意見を頂きたい。

【和田臨時委員】

- ・景観審議会では、事務局（建築住宅課）から景観形成基準について説明を受けた後、文化スポーツ課から新体育館建設基本計画について説明を受けた。
 - ・景観審議会の委員からは、景観形成の基準にある「高さ」については、基準の15mにはこだわらないとの意見が多かった。
 - ・基本目標である「北山を背景とした出雲らしい田園風景と調和した新しいまちづくり」に合わせた建物にしてほしい。
 - ・島根県立大学出雲キャンパスはとてもすばらしい建物なので、統一感のある色が望ましい。
 - ・出雲といえば出雲大社なので、出雲市駅舎、市庁舎のように出雲らしさを出す工夫も必要。
 - ・新体育館のまわりの田園に配慮して、緑地を設けて、市民の憩いの場になるようにしてほしい。
 - ・誰でもいける、親しみのある建物にしてほしい。
 - ・県立大学周辺にある鉄塔については、電力会社に言わないといけないことかもしれないが、できる限り景観に配慮したものにしてほしい。
 - ・まとめとしては、高さの基準があるが、それにこだわりすぎず、出雲のランドマークになるもの、親しみが持てるものになってほしい。
- 以上のとおり意見があったことを報告します。

【今岡会長】

- ・景観について説明・報告を受けたが、ご意見があれば伺いたい。

【萬代委員】

- ・勾配屋根とする場合と、陸屋根では、予算はどれ位違うのか。

【事務局：天野室長】

- ・具体的に設計していないので、勾配屋根と陸屋根で金額がどの程度違うのかわからない。

【玉井臨時委員】

- ・一般論で言えば、勾配屋根だと面積が増えるので、陸屋根よりも経費がかかるかもしれない。
- ・勾配屋根で瓦屋根になれば、更に経費はかかると思う。

【和田臨時委員】

- ・勾配屋根、陸屋根の導入手法について、場合によってはミックスさせることも考えていいと思う。

- ・現在パース(イメージ)は体育館単体のものしか作成されていない。景観審議会では、今後大学との並びパースも作成し、市民に見せるべきとの意見があった。

【福間臨時委員】

- ・大学で一番高いところは何メートルあるのか。

【事務局：天野室長】

- ・先般増築されたのは、15.2メートル位で、他の建物も大体15メートル程度だと承知している。

【今岡会長】

- ・景観審議会から意見を頂いたので、景観にマッチしたデザインに心がけてほしい。
- ・次に、次第「②基本計画の追加項目」について、事務局から説明をお願いします。

②基本計画の追加項目(7.3. 構造計画～)について

新体育館建設基本計画(案)2019.3.26修正版 資料5

【説明：スポーツ特別事業室 天野室長】

【今岡会長】

- ・資料5について質疑を行う。各委員の意見を聞かせてほしい。

【玉井臨時委員】

- ・造成工事の項目で、津波・浸水対策については理解できるが、現在田んぼであれば、水が抜けないことが考えられる。上に盛る土をある程度限定しないと液状化が起きる可能性があるのでは、その対策をコメントしておく必要はないのか。
- ・耐震性能等の項目で、強固なコンクリート構造物等とされているが、鉄筋コンクリート構造物を想定しているが、体育館であれば鉄骨造も考えられる。「強固なコンクリート造等」にシビアな必要があるのか。「強固な構造物」との表現にとどめてもいいのでは。
- ・非構造部材について、天井は含まれているのか。昨今地震等で天井が振られて落ちることがあるので、対策を講じるのか確認したい。

【事務局：天野室長】

- ・造成の液状化については、現段階で具体的なことは把握できていない。後ほどアドバイスを頂戴したい。
- ・強固なコンクリート等の表現についても、建築担当と協議し、文面修正が必要であれば対応する。
- ・天井のことについても、ご意見として承りたい。

【玉井臨時委員】

- ・いままで非構造部材は壁がメインであったが、天井についても何らかの対策を考えたほうがいい。
- ・鉄筋コンクリートだけではスパンをとるのが難しいと思うので、鉄骨造になるのではないかと考える。その点を配慮して設計してほしい。

【和田臨時委員】

- ・県産材の活用に努めてほしい。

【福間臨時委員】

- ・三次市では、体育館を建設し、避難所指定をしていたが、今年の豪雨では、水に浸かって避難所までいくことができなかった。
- ・周辺道路対策はどうなっているのか。水がでた時に車でたどり着けるのか。道路の高さは

対応できているのか。

【事務局：天野室長】

- ・敷地自体を2メートル造成嵩上げする計画だが、第一義的には避難所機能よりも体育館として機能を優先して考えている。
- ・この建設予定地に決めた経過として、地区からの要望があった後、各場所(建設候補地)の比較検討を行ったうえで決定したものである。
- ・洪水の場合、現地まで行けるのかについては、この建設地に限らず市内が水に浸かってしまうことが想定されるため、車の移動はできないと考えている。
- ・大規模な水害が発生し、新体育館に避難ができない場合は、別の場所を避難所として考えることになる。

【今岡会長】

- ・避難指示ができれば早めに避難できるが、冠水した後は車で避難すること自体が難しいではないか。そういった場合は、新体育館を避難所として指定することはできないと思う。
- ・次に、次第「③計画全体」について、事務局から説明をお願いする。

③計画全体について

計画への意見について(回答用紙)

資料6

【説明：スポーツ特別事業室 天野室長】

【今岡会長】

- ・現段階の基本計画案に対し、修正が必要と思われる項目等があれば、事務局まで教えてほしい。
- ～質疑なし～

- ・次に、次第「(2)PFI手法」について、事務局から説明をお願いする。

(2)PFI手法について

【説明：株式会社長大 大阪支社 藤井氏】

【今岡会長】

- ・PFI手法について質疑を行う。各委員の意見を聞かせてほしい。

【福間臨時委員】

- ・市の施設においてPFIの導入実績はあるのか。

【事務局：天野室長】

- ・市の施設においてPFIの導入実績はない。
- ・市内の県施設では、こころの医療センターがPFIを導入実績がある。
- ・近い事例として、パルメイト出雲では幹事会社と他2社の計3社で、建設から管理までを運営会社(フロンティア出雲)で行っている。
- ・「PFI」とは、民間業者が運営会社を設立し、民間業者の資金も活用した手法であり、市は全ての業務を一括して長期契約を締結する。市は、運営会社が提供するサービス対価として、割賦払いで経費を支出するものである。
- ・次期可燃ごみ施設では「DBO」を採用している。ごみ処理施設という特別な施設であり、専門的な知識を要することから、設計、建設、維持管理、運営を民間業者に一括して委託するが、資金調達は市が行っている。

【福間臨時委員】

- ・市の財政負担の面において、割賦払いできることはとても大きな魅力を感じる。
- ・市の導入事例がないようだが、ぜひ導入に向けた検討を行ってほしい。

【事務局：天野室長】

- ・PFIについては、市が定める「公共施設管理計画」の中で、今後大きな建物の建設にあたってはPFIを検討する方針としている。
- ・基本計画では整備手法についても記載するため、今後審議会の中で委員の皆さまにもわかりやすい形で説明していく。

【玉井臨時委員】

- ・PFIを導入する場合、地元企業の参画が狭められることはないのか。

【事務局：天野室長】

- ・このことについては、出雲市建設業協会にも説明を行っている。
- ・玉井委員のご指摘については、地元業者からもPFIについて馴染みがなく、心配しておられる。
- ・管理運営までを含めたPFIについて、地元企業としてはあまりメリットを感じられないとの意見も伺っている。
- ・やってもいいとの意向を示された企業もあったが、地元だけでやると企業数が限られてくるのではないかと。
- ・市の方針はまだ決定していない。審議会にも意見を伺いながら整備手法について検討するが、市長からは、スポーツの拠点となる大規模施設であり、安価で且つ長期間にわたり使用する建物としたいので、PFIの導入については慎重に検討してまいりたい。

【玉井臨時委員】

- ・趣旨は理解できるが、市の金を外に出すことに対し、市はどのように考えているのか。
- ・建物は市に残るが、(PFIを導入した場合)全てのことを地元企業だけで行うことは難しいと思う。
- ・一般的には設計にしても、建設にしても、全国規模の会社とJVとして組めばできると考えている。
- ・地元に残る建物なのに、PFIのハードルが高いために、JVすら組めない場合、それで本当によいのか。

【事務局：永瀬市民文化部長】

- ・玉井委員のご指摘については、市にとって非常に悩ましい問題である。
- ・建設業協会の意向も聞くと、市に実績がないなかで、地元企業がリスクを負うことができるのか、不安を感じておられる。
- ・15年から20年で管理運営を行うが、全国的にみてもまだ実績の成果が見えず、現在やっている最中のところがほとんどで、効果が見極めづらい状況である。
- ・新体育館建設という大規模事業が市外の外部資本だけで行うことは、市にとっても望んでいない。
- ・地元企業の参画がどういう形で得られるのか、見極めたうえでの判断になろうかと考えている。

【矢田委員】

- ・PFI以外の事業手法も検討されると思うが、本日の説明資料では、建設・維持管理費・運営費全てを含めると言葉では書いてあるが、図では建設に関することしか書いていない。

- ・実際に運営はサービス購入型なのか、委託期間についても、長期発注(15年から20年程度)が多いとされているが、では21年目以降はどうか。具体的に示されないと我々は判断ができない。

【事務局：天野室長】

- ・今回は、代表的な手法としてPFIについて説明したが、今後はDBOなど、他の手法についてもお示ししながら、事業手法について議論を深めていきたい。
- ・今後も、今回のように業者による説明を行いながら、委員の皆さまにわかりやすい説明に努めていきたい。

【永島委員】

- ・先程の質問に近いが、今後施設を運営される部分において、市が直営で管理するのか、民営で行うのか、誰が修繕を行うのか、誰が責任を持つのかについても示してほしい。

【事務局：天野室長】

- ・基本的に、市の職員を配置して管理を行うことは、現時点では想定していない。
- ・あくまで仮に従来手法で整備した場合にあっても、指定管理者制度を導入することになると考えている。
- ・松江市では、今直営でやっているが、いずれは指定管理制度に移行するのではと考えている。

【和田臨時委員】

- ・今後は、他市の事例も示して頂けると、より理解を深めることができると思う。

【事務局：天野室長】

- ・他市の状況についても、今後情報収集を行いたいと考えている。

【今岡会長】

- ・次に、次第「(3)審議会のスケジュール」について、事務局から説明をお願いします。

(3) 審議会のスケジュールについて 資料7

【説明：天野室長】

【今岡会長】

- ・第1回の審議会で示したスケジュールでは、5月に答申書をまとめることとしていたが、当初より3ヶ月程度期間を遅らせ、8月末位のところで答申書のとりまとめができるよう、スケジュール変更を行う。もうしばらく審議にご協力をお願いします。
- ・次に、次第「【2】出雲市スポーツ推進計画の進行管理」について、事務局から説明をお願いします。

【2】出雲市スポーツ推進計画の進行管理について

(1) 平成30年度出雲市スポーツ振興事業実績

(2) 平成31年度出雲市スポーツ振興事業予算

【説明：文化スポーツ課 山内補佐】

【今岡会長】

- ・平成30年度出雲市スポーツ振興事業実績及び、平成31年度出雲市スポーツ振興事業予算について質疑を行う。各委員の意見を聞かせてほしい。

～質疑なし～

(3) その他

【今岡会長】

- ・最後にその他についてだが、会議全般をとおして何か意見がありますか。

【山根委員】

- ・話しが戻るが、サブアリーナについて、今回40m×30m程度に変更することで、バドミントンコートは、素案段階で4面だったのが、今回6面とれることになった。
- ・以前も審議会で申しあげているが、平田体育館ではスポンジテニスが盛んに行われておりバドミントンコートが基本だが、コート間を広くとらないと競技ができない。
- ・コート間を2.5mから3mはとってほしい。また、コートの後ろも4m、2面並んだ場合、最低5mは確保したい。
- ・変更後のサブアリーナの面積で対応可能なのか、検討してほしい。

【事務局：天野室長】

- ・可能かどうか検討する。

～質疑なし～

【今岡会長】

- ・本日用意された議題は以上である。次回の審議会の日程について、事務局から説明をお願いします。

【事務局：天野室長】

- ・次回の審議会の日程については、本日配布した日程調整表を集約した後、あらためてご案内をさせていただきます。

(4) 永瀬部長あいさつ（要旨）

- ・本日も熱心にご審議して頂き感謝申しあげる。基本計画については、少しずつ形が見えてきたかなと感じている。文言的な整理はこれからだが、基本計画にあまり細かな数字が入ると、これに縛られるため、メインアリーナ・サブアリーナの大きさは「程度」の表現にとどめ、あとは詳細設計で調整したいと考えている。
- ・アリーナを大きくしたために会議室が1つ減ったということがないよう、調整を図っていききたい。次回はもう少し細かく、おおむねこれでいくという感じになればいいと考えている。
- ・スケジュールについては、8月まで審議を延長していただいたが、9月位に基本計画を固めないと、建設スケジュールに支障をきたすことから、ある程度の期限を定め、そこに向かって審議をお願いしたい。
- ・来年度は、ソフトボール女子日本代表チームが出雲でキャンプを行うことが決定している。オリンピックムードを盛り上げていきたい。秋には、3年に1回の大相撲出雲場所が開催される。委員の皆さまには、側面的な支援をお願いしたい。
- ・来年度については、用地調査や、用地買収の交渉も開始し、再来年度は用地取得の予算も市議会へ計上する予定。いよいよ本格的に事業が動き出すことになる。引き続き新体育館建設に向け、協力をお願いします。本日はありがとうございました。